

第5回町民検討委員会 ワークショップ 結果報告書



別海町

目的

2009年度（平成21年度）に策定された第6次別海町総合計画が、2018年度（平成30年度）をもって終期を迎えます。

総合計画とは、別海町が目指すべき将来像を、10年先を見据えて総合的に策定するものであり、その策定に住民の意見は欠かせません。

本ワークショップは、新たな総合計画を策定するにあたり、住民の方々のご意見を広く反映すべく、全5回を開催するものです。

第5回となる今回のワークショップでは、「防災、防犯」、「交通」、「都市整備」、「環境」の4つの分野について、現状の課題とこれからの別海町が目指す姿の意見交換を行い、ワークショップでの住民の方々のご意見の中から、新たに策定する別海町総合計画にふさわしい意見を選考し、反映させていただきます。

また、このような話し合いを通して、まちづくりへの興味・関心の醸成、協働によるまちづくりにつながれば幸いです。

概要

- 日 時：平成30年8月8日（水） 19：00～20：30
- 場 所：別海町役場庁舎1階 101・102号会議室
- 対 象：第7次別海町総合計画町民検討委員
- 主 催：別海町役場 総務部 総合政策課
- グループ：2グループ（A班7名、B班7名）
- テ ー マ：快適で安全な別海町

当日のスケジュール

開会あいさつ (19:00~19:05)

ワークショップ討議
「快適で安全な別海町」
ディスカッション (19:05~19:35)

休憩 (19:35~19:40)

ワークショップ討議
「快適で安全な別海町」
ディスカッション (19:40~20:10)

各グループ発表 (20:10~20:20)

まとめ・閉会 (20:20~20:30)

A班

現状や実体験

防災・防犯

青パトの巡回
消防の巡回

消防団が町中に
しかいない

子どものほうがネット
に詳しく大人の対
応が追いついてない

外灯が少なく学生の
歩きが危ない

除雪車持っている人
募集
周知不足

交通

バスの便が少ない

西春別スクール
ゾーンの事故が
多発

道路の除草が不十分
で見通しわるい

都市整備

ネットがつながら
ない地域が困って
る

ロボット搾乳、分娩
への影響がでてくる
※ネットワークに関
して

環境

ゴミの分別が細かく
て大変

ゴミ袋安い

エンカル撒きすぎ

別海ひとくくりで天
気を予報されても困
る

理想の想像

防災・防犯

町内会活動を活
発にして住民同
士のつながりを
密に

交通

歩道のない所を
片方でも作る

都市整備

ネット授業が可
能なくらいの速
い回線を

環境

燃やせるゴミは
燃やして火力エ
ネルギーにする

天気の観測地点
を増やす

町有の空き地を
民間に解放

市民ができること行政がすべきこと

防災・防犯

ネットリテラ
シーの向上が必
要

もっと現実的な防災
組織体制を

もっと明るい歩
道にしないと女
性が危ない

都市整備

町全体で平等な
ネットワーク環
境を整備

交通

積雪による通行
止めを早く知れ
るようにしてい
ほしい

町道の交通情報を知
れるようにしてい
ほしい

除雪車を持った
農家と町の連携
を

環境

除雪がいつ入る
か知りたい
仕事の予定も立
てやすくなる

適度な都市整備を

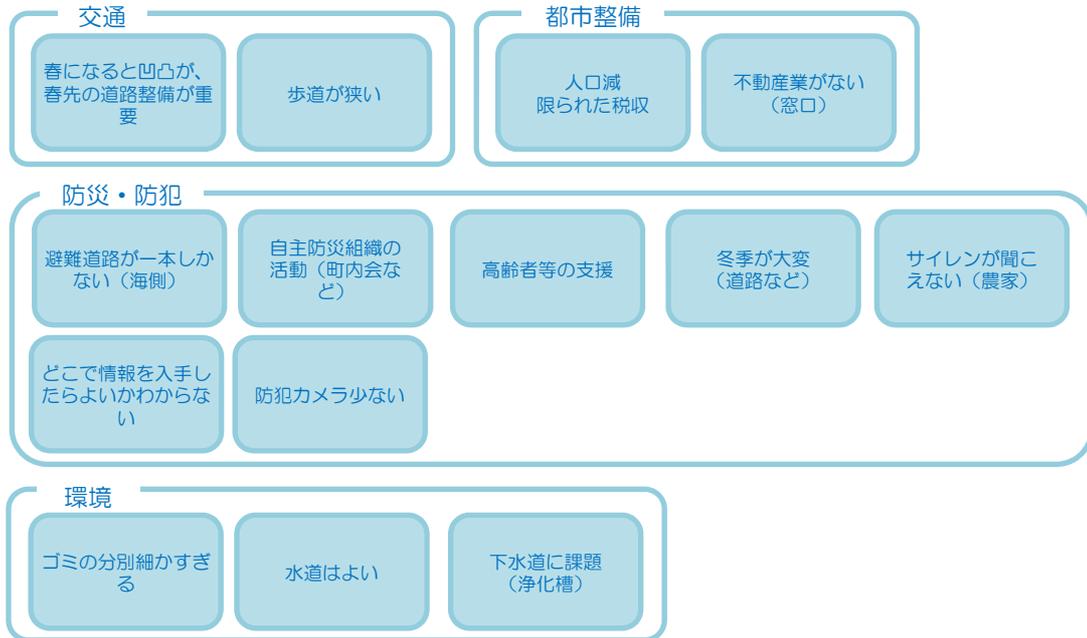
A班のまとめ

防災・防犯については、子どもたちの通学路に外灯がない、子どもたちのネットの使い方についての意見が挙がった。外灯の話では、不審者が出没するといったこともあるため、明るいまちづくりを考えた方がいいと思う。ネットリテラシーの話では、子どもたちに携帯が普及している中で、大人たちのほうが使い方をどう教えていかわからない状況だと意見が挙がった。

環境については、除雪の話が出ていた。農業・酪農に除雪が入りにくい中、いつ入るのかわかれば、それに応じた対策ができるという意見が挙がった。しかし、こうした情報を流すためのネット環境が整備されていない農家が多いので、先にネット環境を整備する必要があるという意見が挙がった。

B班

現状や実体験



理想の想像



市民ができること行政がすべきこと



B班のまとめ

道路について、別海町はエリアが広いので、中央・西部・東部をつなぐ道路はしっかりと整備したほうがいいという意見が挙がった。また、冬に除雪が入ると雪の壁ができて歩道が狭くなるので、広くして、同時に花壇の整備等も行えば景観がよくなるのではという意見が挙がった。

防災については、農家にサイレンが聞こえず情報が全く入ってこない、海沿いの町に津波等の被害があった場合に内陸へ逃げるための道路を整備する必要があるという意見が挙がった。防犯については、クマや不審者の出没情報を町民に知らせる必要がある。例えば、火災情報のように電話をすればアナウンスが流れるしくみを作れば、インターネットを使えない高齢者にもよいのではないかと。そして、市街地でも自主防災組織を作り、訓練を実施するほか避難の方法などの説明資料を作って住民に周知したらよいという意見が挙がった。